

高梁市 議会 だより

第16号
2013年11月



9月定例会開催

特集

平成24年度決算審査 ②

★ 一般質問 ここが聞きたい! ⑤

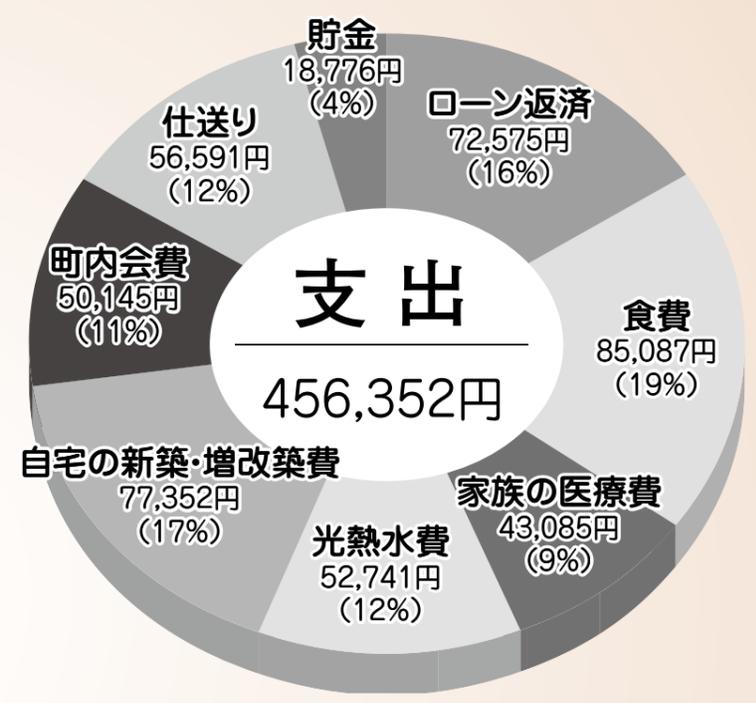
★ 委員会報告 ⑩

平成24年度決算審議

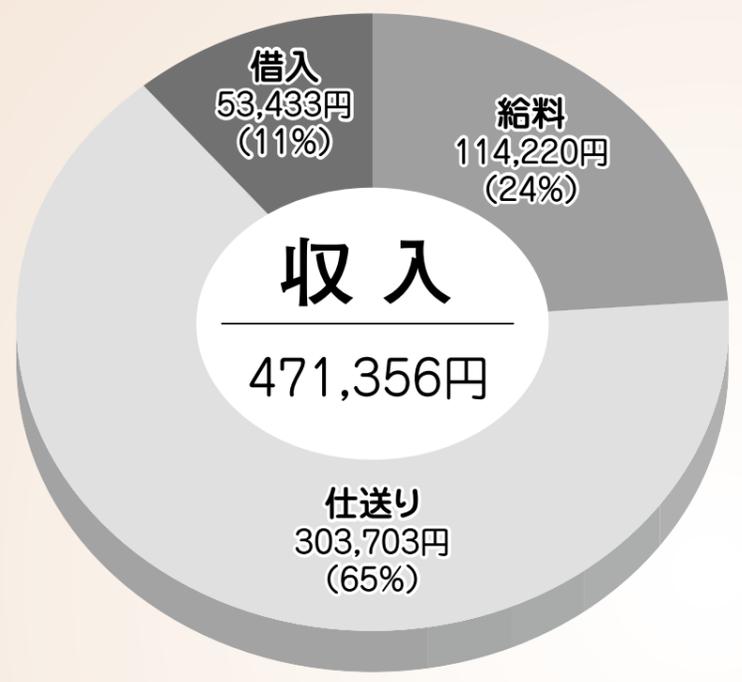
決算審査特別委員会を9月18日に開催
一般会計、各特別会計・企業会計を詳細に審査

高梁市の家計簿

普通会計を5万分の1にして、家計簿にしました



	家計簿	普通会計
支出	ローン返済	公債費
	食費	人件費
	家族の医療費	扶助費
	光熱水費	物件費
	自宅の新築・増改築	投資的経費・維持補修費
	町内会費	補助費等・出資金・貸付金
	仕送り	繰出金
	貯金	積立金



	家計簿	普通会計
収入	給料	市税などの自主財源
	仕送り	国・県支出金などの依存財源
	借入	市債などの借入金



高梁市の普通会計のうち、自主財源は4分の1程度で、残りは国や県からの交付金・支出金と市債となっています。

決算の概要

平成24年度の決算は、普通会計ベースで、歳入235億6780万円、歳出228億1761万円で実質単年度収支は4634万円の黒字となっています。
歳入のうち、市税の収入済額は36億4594万円で、前年度より0.1%増となっていますが、収入未済額が1億8607万円と、前年度より2.2%増となり、不納欠損額も949万円と2

年連続900万円を超えていました。市債は26億7167万円で、前年に比べ15.9%減となっています。財政の健全性を示す経常収支比率は86.1%で、前年度よりも1.6ポイント改善し、実質公債費率も14.3%と前年度より1.7ポイント改善しています。

審査で出された主な意見

平成24年度に実施された各事業について、具体的な成果の説明を求めるとともに、多くの不用額が出ている事業については、その要因の詳しい説明を求めました。また、費用対効果の視点からの意見や、より充実した事業にするための提案などが、各委員から多く出されました。

◆市税の収入未済額が、昨年度に比べ2.2%増加し、不納欠損額も2年連続900万円を超えている。自主財源確保や納税の公平性の観点から、収納率向上に向けた努力を求めらる。

◆市債は、前年より15.9%減となっているが、今年度から大型事業が進められており、今後の財政計画を明らかにし、市民に周知する必要がある。

◆国民健康保険成羽病院事業会計で、延べの入院患者数、外来患者数は前年に比べ減少している。平成24

年度は改築事業の影響もあったと考えるが、病院事業の安定に向け、早急に地方公営企業法の全部適用を行うとともに、引き続き診療科目の充実に努力すべきである。
◆委託料や補助金として毎年同じ金額を支出しているものは、その内容を検討すべきではないか。

討論・採決

一部委員より、大学関係や健康増進施設に支出されていることは認められないので反対するとの討論がありました。賛成多数で認定することと決しました。

決算審査特別委員会委員名簿

- 委員長 長江 和幸
- 副委員長 宮田 好夫
- 委員 川上 英夫
- 川上 博司
- 宮田 公人
- 川上 修一
- 倉野 嗣雄
- 内田 大治
- 黒川 康司

※普通会計…一般会計と、へき地診療所、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、住宅新築資金等貸付事業、畑地かんがい事業の各特別会計を合算し、会計間の重複を除いたもの

9月定例会開催

平成25年第4回高梁市議会(定例)は、9月5日から27日までの23日の会期で開催されました。
一般質問では、10名が34項目にわたって市政について質問しました。



ヒルクライムポロシャツを着用しての議会

議決結果

追加提出の議案9件を含め、市長提出の議案37件のうち、1件については報告を受け、残り36件すべてを承認、可決しました。議員提出の一般会計補正予算(第2号)の修正案については否決されました。市民団体などから議会に寄せられた請願、陳情については、2件を採択、1件を継続審査としました。さらに、議員発議の議案3件を原案のとおり可決しました。

9月定例会で賛否が分れた議案等の議決結果

○賛成 ●反対

件名	石井	石部	石田	黒川	三村	内田	宮田好	森田	大森	長江	柳井	倉野	植田	川上修	宮田公	川上博	大月	妹尾	難波	
平成24年度 高梁市各会計歳入歳出決算認定について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
平成25年度 高梁市一般会計補正予算(第2号)	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
平成25年度 高梁市一般会計補正予算(第2号) 修正案	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高梁市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
消費税の複数税率導入と新聞への軽減税率適用に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新聞への消費税軽減税率適用を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地方税財源の充実確保を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

「TPP 交渉に関する陳情書」は賛成多数で継続審査となりました。他の議案は全会一致で可決しました。

- Q. 空き家対策条例を制定すべきではないか**
- A. 来年の3月をめどに、条例を制定したい**



ここを聞きました

- がん対策について
- いじめ対策について
- 空き家対策について

川上 危険家屋の空き家の所有者に、適正管理を求めたり撤去を命令できる「空き家対策条例」を制定すべきではないか。

市長 来年3月をめどに、条例を制定したい。

「胃がんリスク検査」を導入すべきではないか

川上 採血による胃がんリスク検査、いわゆるABC検査は、ピロリ菌感染の有無を調べる検査と胃の萎縮、胃炎の有無を調べるペプシンゲン検査を組み合わせて測定し、胃がんになりやすいかどうか



のリスクや、胃が健康かどうかをAからDまでの4段階で判定する新しい方法である。胃の萎縮やピロリ菌は5年間は変化しないので、費用対効果も上がり、内視鏡検査が必要かどうかも判定できる。これにより、胃が健康で超低リスクの方たちが精密検査に至らず、検診にかかる負担を減らすことも期待できる。市の検診に導入すべきではないか。

健康福祉部長 来年度からの導入について前向きに検討したい。

- Q. 耕作放棄地解消のため、複数の課による協力が必要ではないか**
- A. 情報共有がどこまでできるか研究したい**



ここを聞きました

- 高梁市の交通安全対策について
- 駅前周辺整備について
- 耕作放棄地の有効活用について
- 定住対策について
- 廃校となった校舎の利活用について

市民の声を十分に反映した駅前施設の建設を

石井 駅前周辺整備は高梁市にとって必要だが、現在の計画には市民の声が十分に反映されていないのではないか。

政策監 今後、ワークショップなども開催し、広く市民の皆様から意見を伺い、本当に利用しやすい施設を整備していきたい。

産業経済部長 JRについては具体的な設計に入っている段階。しかし今回、コの字型から直線階段に変更した部分は市の施工であり、複合施設との調節は可能だと思ふ。

今からJRとの協議は可能なのか。

産業経済部長 JRについては具体的な設計に入っている段階。しかし今回、コの字型から直線階段に変更した部分は市の施工であり、複合施設との調節は可能だと思ふ。

耕作放棄地の減少に向けて改正農地法の徹底した周知を

石井 高梁市の耕作放棄地は、土地持ち非農家や不在地主が権利を保持しているものも多い。情報を把握して、改正農地法にある相続時の届け出を徹底するためにも、他部署との連携が必要ではないか。

産業経済部長 まだ制度創設から時間がたっていないこともあり、なかなか浸透できていない。多くの関係課の連携が必要だと認識はしているが、農地情報は個人情報なので、どこまで情報共有が可能か研究させていただきたい。

Q. 家族経営でも成り立つ農業振興対策を求める

A. 国・県の制度を活用して経営をしてほしい



難波 英夫

ここを聞きました

- 家族経営でも成り立つ農業振興策について
- TPP交渉からの撤退について
- 私学である高梁日新高校に対する助成について
- 高梁市子ども医療費給付に関する条例の拡充について
- 高梁市道路維持管理作業奨励金について

家族経営でも成り立つ農業振興対策を求める

難波 本市の農業集落と住環境を守るため、専業、兼業を問わず成り立つ農業の推進を求める。
産業経済部長 ブドウ・トマトでは経営が成り立っている。全ての農家となると中山間地域等直接支払制度を活用いただきたい。

「コメの「不足払い制度」創設を

難波 コメの生産費と販売価格の差額を補填する「不足払い制度」の創設と、農業の多面的機能を正當に評価した所得補償の実施を国に要請すること。
産業経済部長 国は経営所得安定対策を導入したばかりであり、今後の動向を見て対応する。

子ども医療費給付の充実を

難波 高梁市子ども医療費の給付期間は、18歳に達した日以後の最初の3月31日までとあるが、高校を卒業するまでと改正すること。
健康福祉部長 現行制度でご理解願いたい。

高梁市道路維持管理作業報奨金について

難波 市道、農道及び林道の維持管理作業は市が責任を持って行うこと。草刈作業報奨金の引き上げで地域コミュニティの円滑化を図ること。
産業経済部長 業務委託という考えではなく、奉仕作業に対する報奨金として交付しているのでご理解いただきたい。

Q. 「安定型産業廃棄物最終処分場」に対して、反対の取り組み強化を!

A. 建設反対の立場で引き続き取り組みを進めていく



宮田 好夫

ここを聞きました

- 産廃処分場計画について
- まちづくり事業の分類、整理について
- 介護保険制度について

高梁川の水を守るためにさらなる取り組み強化を

宮田 高梁川支流の佐与谷川上流に、岡山市の民間会社が「安定型産業廃棄物最終処分場」を計画し、許認可権を持つ岡山県と事前協議を進めている。この施設には水の処理施設がなく、もし有害な物質が混入すれば、津川・巨瀬簡水の水源や、田畑が汚染されることから、地域住民は反対署名や法廷闘争に向け資金カンパ活動などの取り組みを進めている。ご支援をお願いしたい。

市長 市としても住民に不安を与える施設の建設には反対であり、県に対して市長・議長連名で建設反対の申し入れをしている。県から求められた意見書でも16項目の

介護保険制度について

宮田 国が検討している改正内容では、要支援と要介護1や要介護2で従来のサービスが受けられなくなると思われる。市民に一番近い自治体であるからこそ、今回の改正の問題点を国に提起すべきではないか。

健康福祉部長 現段階では国は内容を検討中であり、具体的な資料は示されていない。基礎自治体として、地域の実情を踏まえ、県や国に意見を上げていく。

Q. 総額50億円を超える大型公共投資が計画、予定されている。近藤市政の2期目における高梁市の10年、20年先の未来予想図を聞く

A. 少子・高齢化に対応したコンパクトなまちづくりを目指していく



大森 一生

ここを聞きました

- 近藤市政の2期目における高梁市の未来予想図を聞く
- 新庁舎建設と駅周辺整備について
- 朝霧温泉「ゆ・ら・ら」の利活用と地域振興について

平成31年度の目標人口3万3000人を達成するためには

大森 定住促進を進めるためにはJRで東西に分断された中心市街地の土地区画整理事業を強力に推進するべきではないか。

市長 昭和32年計画の都市計画街路を中心にして、土地区画整理を進めるべきだった。これから新たな方向性を考えていく。

大森 土地区画整理を推進することで、中心市街地の利便性を生かした県南のベッタタウンとしての定住策につながるのではないかと。

市長 宅地整備・住宅供給を進めていきたい。
産業連関表、産業構造分析、波及効果分析の必要性について
大森 高梁市の産業構造（お金の

流れ）を知ることが、市の持続的維持・発展につながるのではないかと。

市長 限られた財源をどのように生かしていくのかが大変重要だ。

駅舎周辺整備、図書館建設による活性化戦略と安全対策について
大森 どのような賑わい戦略、安全対策を考えているのか。
政策監 駅を中心に東西広場整備、図書館建設等が人集まれば活性化につながっていく。同時に安全対策もしっかり考えていく。

朝霧温泉「ゆ・ら・ら」を生かした市民福祉向上と地域活性化を

大森 「ゆ・ら・ら」を核とした地域資源、特に「食と農」を融合させた他の自治体ない持続可能性のある長期的戦略を。
市長 長期的戦略で取り組みたい。

Q. 防災行政無線は故障したとき廃止にするのか

A. 十分な方法が確立するまでは維持する



内田 大治

ここを聞きました

- 防災行政無線について
- 県道新見川上線の大雨による通行止めについて

防災行政無線について

内田 災害発生時の情報伝達手段としては、CATVを基幹とし携帯電話メールで補完するとしている。防災行政無線は使用不能となった時、廃止するとしているが現状は基幹も補完も十分対応できていない。十分な伝達手段が確立するまでは、防災行政無線を修繕を含めて維持する考えはないか。

市長 情報伝達手段としてはCATVを基幹として携帯電話メールで補完する考えである。現状はどちらにしても100%ではない。十分な伝達手段が構築できるまでは防災行政無線を維持する。

内田 防災行政無線は防災の他、行政放送もある。音声を使って地域の情報を伝達していることは、まちづくりにとって有効な方法で

県道新見川上線の大雨による通行止めについて

内田 県道新見川上線は地域にとっては幹線である。時間雨量が35ミリ、総雨量150ミリを超えると、例え通行できる状況でも一方的に県によって全面通行止めの対策がなされる。地元自治体として県と協議すべきではないか。
総務部長 県と市で定期的に協議を行っている。地域の状況等を伝

Q. 川上中学校移転にともなう整備について

A. PTAと十分協議を行いながら進める



ここを聞きました

- 川上中学校移転について
- 川上中学校跡地の整備について

妹尾 川上中学校の移転については紆余曲折があったが、地域との協議はどのようになったのか。

教育次長 まちづくり協議会との話し合いによって、理解が得られたと考えている。

妹尾 移転先の校舎は高等学校仕様になっているが、中学校仕様を整備する計画はどのようになっているのか。

教育次長 PTAから要望書もいただいております、それに充分応えられるよう協議し、整備を進めていく。

妹尾 川上地域のコミュニティの中心な場所である川上中学校跡地の整備を早急に行うべきではないか。

教育次長 窓口を一本化して、まちづくり協議会と協議を行いながら整備を進めていく。



◀ 中学校仕様への整備が早急に望まれる 旧高梁城南高校川上校地



整備が望まれる 旧川上中学校▶

Q. 学校教育を補完するものとして、高梁学習サポート教室を支援することはできないか

A. 予算措置をして支援していきたい



ここを聞きました

- 局部的豪雨による被害対策と今後の防災対策について
- 学力向上に対する取り組みについて
- 空き家対策について

今夏の局部的豪雨災害への対応について

石田 本庁、地域局、西部土木事務所の対応はどうであったのか。

産業経済部長 西部土木事務所を中心に、本庁からも職員を派遣し、関係課と協力して対応した。

石田 災害による市道規制等を、さらにわかりやすく公表していくべきではないか。

総務部長 県のホームページのような地図での位置表示については、災害現場の状況確認等に時間がかかるため対応できていない。地図情報のメール配信については今後研究する。

高梁学習サポート教室に対する支援について

石田 教員OBや学生によって、ボランティアで小・中学生の個別



高梁学習サポート教室の様子

Q. 図書館計画についてはしっかりとした素案を示すべき

A. 配置図の不出来についてはご容赦願いたい

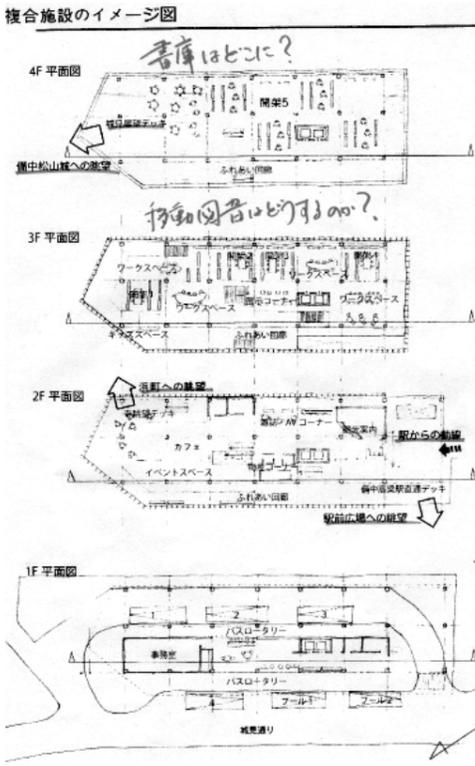


ここを聞きました

- 朝霧温泉「ゆ・ら・ら」の今後について
- 学校林の現状と収益金の管理、運用について
- 入札制度と監理課の役割について
- 高梁駅バリアフリー化事業と駅周辺整備について

宮田 図書館計画については、移動図書のある方や書庫の位置、2階と3階でエレベーターの数が違うなど不明確な点が多い。しっかりとした素案を示すべきではないか。

教育次長 複合施設並びに新図書館の配置図の不出来についてはご容赦願いたい。あくまでもイメージとしてレイアウトさせていた



全員協議会に提出された、賑わい施設のイメージ図

Q. 箱物ではなく、人を育て大切に市政運営を望む

A. 地域のニーズに沿った市政運営を進める



ここを聞きました

- 小・中学校へのエアコン設置について
- 地域コミュニティの発展について
- 生活保護基準の見直しについて
- 駅周辺整備について

石部 基準の見直しは生活保護世帯だけでなく、市民生活においても就学援助、保育料、介護保険料、また最低賃金などにも影響が考えられるがどうか。

健康福祉部長 生活保護は国の制度であり市には裁量権がない。今後の動向を見守りたい。

石部 保護世帯の就労を支援する専門家の配置、また受給者ではない生活困窮者の捕捉調査を求める。

健康福祉部長 国の補助制度の活用、ハローワークとの連携で就労支援を続けていく。

駅周辺整備について

石部 駅前にかかわる予算が次々

肥大化してきている。今後も要望や計画により増大することが考えられるがどうか。

産業経済部長 高梁市に見合った財政投資を行っている。新しい案件については財政負担に耐え得るかどうかが検討していきたい。

地域コミュニティの発展と充実について

石部 周辺地域の声を引き上げて生活を豊かにするためには、地域局や市民センターに手厚く人と予算を増やすべきではないか。

市長 細かな行政サービスを行い、地域のニーズに沿った市政運営をしていく。

総務文教委員会

高梁市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

委員 今回の職員給与の引き下げは、国が権限を振り回し、自治体の意見を聞かずに地方交付税を削り、給与を下げることを求めているものであり、こうした地方自治体の権限を国が取り上げるようなやり方に対して、しっかりと抗議する意味からも、この議案に反対する。

委員 現状を考えれば、高梁市の今後の財政状況は非常に厳しい状況に陥ってしまう。職員労働組合にも理解を得ていることから、もろ手を挙げてではないが賛成せざるを得ない。



産業経済委員会

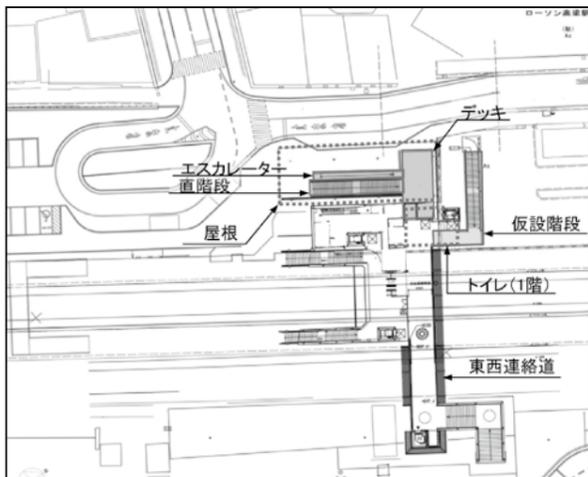
平成25年度高梁市一般会計補正予算(第2号)

委員 都市街路事業費の東西連絡道付け替え工事費が2億3205万7000円増額となっている。計画の詳しい説明を求める。

執行部 隣接する複合施設との兼ね合いも考え、東西連絡道を西へ延伸し、南へ向けて直階段をおろす計画としている。

委員 公共施設や駅の階段勾配は30度ぐらいだと思う。高齢者等のことを考えれば、下りのエスカレーターも考えたほうがよいのではないかと。

執行部 現在は、直階段の幅員を約2.5メートルで計画している。この部分については、高梁駅の利用者の安全、利便性を確保するため、また隣の複合施設ができた場合の分散を考え、必要最小限の幅員としている。そこへ約1



付け替えが計画されている東西連絡道の西側階段の形状

市民生活委員会

高梁市子ども・子育て会議条例

委員 この会議ではどういったことを話し合っていくのか。また、15人の委員はこういったメンバーを考えているのか。

執行部 教育、保育施設、地域型保育事業などの利用定員を定めること、産後や育児休業後における保育施設の確保のこと、保護を要する子どもたちの養育環境を整えること、子育て支援事業計画の策定や変更することなどを総合的に話し合っていた。委員については、学識経験者であるとか、教育、保育分野の関係者、保護者代表といった方を考えている。

お詫びと訂正
前号の委員会報告で、成羽病院院長を神谷院長と記載しましたが、正しくは紙谷院長です。お詫びして訂正させていただきます。

視察に行きました!

有害鳥獣対策・幼稚園の視察調査を行いました

産業経済委員会管外行政視察

(委員長 倉野嗣雄)

8月6日から8日の3日間で、岩手県盛岡市と紫波町、愛知県岡崎市の視察を行いました。

盛岡市は観光政策として、詩人・石川啄木、思想家・新渡戸稲造など、歴史に名を残した先人の偉業を顕彰していくとともに、さまざまな事業を行う観光宣伝の展開に努めています。

紫波町では、JR紫波中央駅西側一帯の町有地を中心とした都市整備を図るため、町民や民間企業の意見を反映させた紫波町公民連携基本計画を策定しオカールプロジェクトと称して平成21年度から整備を進められています。官民が融合した複合施設には図書館と音楽スタジオが整備されている公共施設と、カフェ、産直市場などの民間テナントが入っていました。今後も庁舎や体育館、住宅地を整備してい

くそうで、本市でも今後計画されているさまざまな事業について、公民連携の手法は大いに参考になりました。



竹と間伐材を利用した捕獲罠

岡崎市では、山間部でイノシシやサル、シカなどによる農作物被害が多発しており、新たな取り組みとして、お金をかけずに、また環境にも優しい竹と間伐材を使用した檻を作り、イノシシの捕獲に努めているとのことでした。自然の物を利用することで捕獲率も高いとのこと、本市でも竹の有効活用として、この檻を作り、イノシシの捕獲に取り組んでみたらどうかと感じたところです。

総務文教委員会管内行政視察

(委員長 長江和幸)

7月18日に教育行政が重要な課題に取り組んでいる現状を教育委員会職員同行のもと市内の視察を行いました。

有漢、川上幼稚園では、平成27年度の幼保一体化に向けての取り組みについて園長から説明を受けました。有漢幼稚園では、幼稚園児と保育園児が交流することにより子どもたちにはプラスになることが多いとのことでした。

川上幼稚園では、現在2、3歳児は保育園児との合同保育を行っており、本年度は運動会も行う予定で、一体化に向け準備を進めている。今後、保育料や職員配置の問題など行政としてクリアしなければならぬ課題もあるとのことでした。

津川幼稚園の園庭芝生化の現状については、管理は地元老人ク



芝生化された津川幼稚園の園庭

ラブが行っているが、想像以上に大変であるとのことでした。川上中学校の校舎と、移転先となっている旧高梁城南高校川上校地の現状を視察しました。中学校と高校では、校舎等の仕様が異なるため工夫して使用しているが、今後改善すべき点は行政と話を進めていくと校長から説明がありました。

視察を通じて、さらに教育行政に力を注がなければと再認識した有意義な視察となりました。

気になるスポット

The spot of Takahashi

旧備中松山藩御茶屋（高梁市奥万田町）

備中松山藩六代藩主板倉勝戦^{かつね}が別邸として建てたものです。隣接して水車があったことから通称「水車」と呼ばれていました。

幕末に藩政改革をすすめていた山田方谷が元締め役を辞した後、当時利用のなかったこの「水車」を城下滞在時の宿舎としていました。長岡藩主河井継之助が方谷の教えを請いに訪れた時、ここで学んでいたことを旅日記「塵壺^{ちりつぼ}」に記しています。

現在の施設は、御茶屋跡に唯一残されていた建造物を調査に基づき、水車とともに整備したものです。



旧備中松山藩御茶屋 水車



旧備中松山藩御茶屋

贈らない！ 求めない！ 受け取らない！ 寄付行為等の禁止について



公職選挙法により、政治家が選挙区内で寄付行為等を行うことは禁止されています。このため、市議会議員はお中元・お歳暮などを贈ったり、地域の行事に差し入れや祝儀を出すことはできません。選挙区内に暑中見舞いや年賀状を出すことも禁止されています。

また市民から市議会議員に対して、寄付を出すよう勧めたり、要求したりすることも禁止されています。

皆さんのご理解とご協力をよろしく申し上げます。

あなたの写真で、議会だよりの表紙を飾りませんか？



高梁市議会広報調査特別委員会では、身近な議会だよりとなるよう、市民の皆様から表紙の写真を集めています。なお、今回は2月号の表紙写真を募集します。

募集写真のテーマ

高梁市の四季折々の風景、名所、地域行事など

応募方法

1. 作品には、題名、撮影場所、撮影日時、住所、氏名、電話番号をご記入ください。
2. 直接議会事務局へお持ちいただくか、郵送でお願いします。デジタルデータの場合は議会事務局へご相談ください。

☆**ご意見はこちらまで**
高梁市議会事務局
高梁市松原通2043
080066-21-0276

編集
議会広報調査特別委員会
委員長 宮田 好公
副委員長 川上 博司
委員 石井 聡美
委員 石田 芳生
委員 石部 誠
委員 森田 一
委員 川上 博司
委員 宮田 好公

編集後記

大幅な紙面リニューアルを行ってからの3号目はどうだったでしょうか。今後も、一人でも多くの市民の皆様手に取って見ていただけるように、新しい発想で工夫しながら紙面づくりに取り組んでいきたいと思っています。

11月11日から17日にかけて開催する第2回議会報告会については次号で報告させていただきますので、よろしくお願いいたします。

(川上博司)